

# ヒグマによる被害を防ぐために

今年は何年よりも、ヒグマの出没が多発しています。その要因として、夏から秋に、ヒグマの餌になる野山の実りが不足したことに加え、経験が浅いクマの活動エリアと人間の居住圏との境界線が、従来より曖昧（あいまい）になってきていることが挙げられています。

名寄市内においても、農作物の被害が出ています。間もなく冬眠の時期を迎えますが、今年は、遅い時期まで活動する可能性がありますので例年以上の厳重な注意が必要です。

## ヒグマの侵入を避けるために

山林近くに住居や畑を所有されている方は、ヒグマを侵入させないために電気柵や爆音機を設置するなど、ヒグマの餌となる農作物に近寄らせないようにする。

また、住宅のそばに生ごみなどヒグマの餌になるものは放置しないこと。

## ヒグマに遭遇しないために

ヒグマの出没情報のある地域への立ち入りは避ける。

野山に入らなければならない場合は、次の事項に留意すること。

ほとんどのヒグマは人と出会わないように活動しているため、ヒグマに人間の存在を気づかせることで、出会いの回避につながる。

- 鈴や笛、ラジオなど音の出る物を身につける。
- 単独行動を避ける。
- ヒグマが人に気づきにくい濃霧時や降雨時は避ける。
- 夕暮れから早朝までの暗い時間帯は避ける。
- 犬を連れての立ち入りは、ヒグマを興奮させるので危険。
- 野山に食料品などを持ち込んで捨てる、生ごみを出さない。

（ヒグマは、いったん味を覚えると、食べ物を得るために人を襲うなど危険な行動をとる）

## ヒグマに遭遇してしまったら

遠くにヒグマを見つけたらあわてず、ヒグマの様子を確認しながらゆっくりとその場を立ち去る。近くで出会ってしまったら

落ち着いて、視線をそらさずにゆっくり後退する。走って逃げると追いかけてくる可能性がある。

## 持ち物を取られたら

バックなどをヒグマに取られてしまったとき、それを取り返そうとすると、ヒグマは自分の餌を守るため攻撃する。危険なので、あきらめる。

※ここに掲載した内容は、研究調査や経験に基づく有効と考えられる方法です。ヒグマとの遭遇には、さまざまなケースがあり、ヒグマから攻撃を受けた場合、これで完全という対処法はありません。まず、ヒグマに出会わないように用心が大切です。

## 情報をお寄せください

市ではヒグマの出没箇所（人と遭遇しそうで危険な場所）に、立て看板を設置しています。特に危険な場所には箱わなを設置したり、猟友会に依頼してパトロールを実施しています。

ヒグマを目撃したり、出没情報がある場合はご連絡ください。

## 問い合わせ・連絡先

耕地林務課林務係（市役所風連庁舎）  
☎ 01655③2511 内線316

